

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

学務課

補助金等の名称	佐倉市特別支援教育就学奨励費補助金
---------	-------------------

予算科目	一般会計 款 9 項 2 目 2
予算事業名	小学校就学援助事業(予算科目:9款2項2目)中学校就学援助事業(予算科目:9款3項2目)
実施計画の位置づけ	学習意欲を向上させます

補助金分類	Ⅳ:社会保障、災害対策の性格を有する財政支援
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし 千円
交付先	特別支援学級に在学する児童・生徒の保護者
支出根拠規定	佐倉市特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱

補助の目的	就学時における保護者の経済的負担の軽減を図る。
補助の効果	経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費について援助することで学校生活の充実を図ることができる。
補助対象事業の 具体的内容	特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費を補助する。
対象経費及び補助率	対象経費:学用品等購入費、新入学児童生徒学用品費、校外学習費、修学旅行費、学校給食費等 補助率:経費の種類に応じ、定額、実費相当額または実費相当額の2分の1
補助金額の根拠	国の特別支援教育就学奨励費負担金等限度額に基づく。
備考 1/2を超えて補助、設 立5年を超えて運営費 補助する理由 その他	
補助期間	平成27年 4月 1日～令和 2年 3月31日

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課		学務課	
補助金等の名称		佐倉市特別支援教育就学奨励費補助金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	8,755	小学校 122人 中学校 54人 計 176人		7,099 (うち中学校 2,589)	小学校 127人 中学校 44人 計 171人
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	特別支援を必要とする児童・生徒保護者の経済的負担軽減を図ることができた。引き続き、特別支援を要する児童・生徒保護者の経済的負担軽減を図っていく。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	8,755	小学校 122人 中学校 54人 計 176人		7,053 (うち中学校 2,845)	小学校 129人 中学校 50人 計 179人
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	特別支援を必要とする児童・生徒保護者の経済的負担軽減を図ることができた。引き続き、特別支援を要する児童・生徒保護者の経済的負担軽減を図っていく。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	8,755	小学校 122人 中学校 54人 計 176人		7,082 (うち中学校 2,820)	小学校 131人 中学校 54人 計 185人
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	特別支援を必要とする児童・生徒保護者の経済的負担軽減を図ることができた。引き続き、特別支援を要する児童・生徒保護者の経済的負担軽減を図っていく。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	8,755	小学校 122人 中学校 54人 計 176人		8,346 (うち中学校 3,354)	小学校 150人 中学校 58人 計 208人
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	特別支援を必要とする児童・生徒保護者の経済的負担軽減を図ることができた。引き続き、特別支援を要する児童・生徒保護者の経済的負担軽減を図っていく。				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	8,755	小学校 122人 中学校 54人 計 176人		8,358 (うち中学校 2,802)	小学校 180人 中学校 55人 計 235人
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	特別支援を必要とする児童・生徒保護者の経済的負担軽減を図ることができた。引き続き、特別支援を要する児童・生徒保護者の経済的負担軽減を図っていく。				
計画期間終了後の最終的な目標値		176人/年(小学校122人・中学校54人・計176人)			
計画期間終了後の最終的な成果値		235人/年(小学校180人・中学校55人・計235人)			